

富山県立石動高等学校 シラバス

学習計画等

| 運動領域 | 学習内容 | 学習のねらい・目標 | 備考(学習活動の特記事項・副教材使用等) |
|--------|---|--|----------------------|
| 体つくり運動 | 体ほぐしの運動 体力を高める運動 | ・自己の体に関心をもち、自己の体力や生活に応じた課題をもって運動を行い、体をほぐしたり、体力を高めたりすることを生活の中で実践できる | |
| 陸上競技 | 短距離走 50m走・100m走 持久走 男子:1500m走 女子:1000m走 | ・自己的能力に応じて運動の技能を高め、競技したり、記録を高めたりすることができる ・互いに協力して練習や競技ができるとともに、勝敗に対して公正な態度がとれようになる ・自己的能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や競技の仕方を工夫することができる | |
| 武道 | 柔道(男子) | ・自己的能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開することができる ・伝統的な行動の仕方に留意して、基本的な動作を身につけることができる | |
| ダンス | 創作ダンス(女子) | ・自己的能力に応じた課題をもち、感じを込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりして、交流し、発表することができる ・計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫することができる | |
| 球技 | 選択制体育 第1期 バスケットボール 卓球 バドミントン テニス 第2期 バレーボール サッカー ユニホック 第3期 卓球 バスケットボール サッカー | ・チームの課題や事故の能力に応じて運動の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる ・チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して練習やゲームができるとともに、勝敗に対して公正な態度がとれる ・安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームができる | |
| 体育理論 | 運動技能の構造と運動の学びかた 1. 運動技能の構造 2. 技能の上達過程とその把握法 3. 戰術の上達過程とその把握法 4. 運動の学びかた 5. 運動の楽しさや喜びと技能の向上 | ・運動技能を構造的に理解できるとともに、その上達過程と上達の程度を把握する方法を理解できる ・自己的能力に応じて運動技能を高めるなど運動に親しむための学び方について理解する | |

提出物・課題等

評価方法

- ・おもに行動観察により、意欲・態度・服装、集団の中の役割の果たし方や他者との協力の様子を評価
 - ・行動観察や実技テスト等において、運動技能を評価
 - ・ワークシート等により、思考・判断や知識・理解の状況を評価